

### 3-8 勝山・小倉城周辺エリア



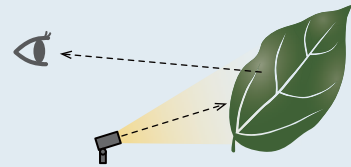
#### 小倉城から広がる城下のあかり

現代と昔が融合した不思議な魅力を持つエリアです。歴史的建造物と近代建築を囲むように緑があり、都心にながら豊かな自然を感じることができます。夜間にも散策や運動を行う人が多いため、安全性が高く季節感のある夜間景観の創出が望まれます。



#### 豊かな自然を活かすあかり

##### ■ 葉の性質に応じた照らし方

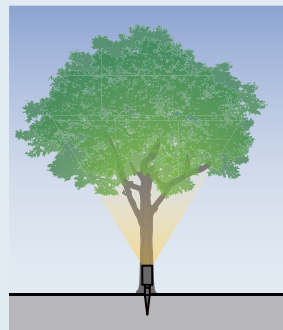


常緑樹のように葉の厚みのあるものを照らしたり表面の色、艶を見せたいときは視線に対し葉の表面を一方方向に照らすときれいです。

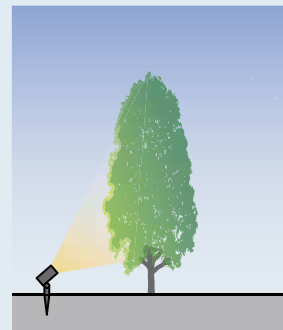


落葉樹のように葉の厚みの薄いものは視線に対し葉の背面から照らし透け感や特徴あるシルエットを引き立てます。

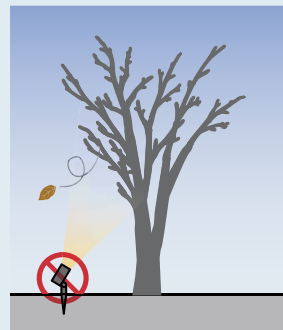
##### ■ 樹形に合わせた照明手法



枝ぶりが広く葉の密度がある樹木は幹に沿う形で照らし内側に光を溜めます。



表面にツヤのある樹木は葉の表面を照らしあげて樹木の形を強調します。



冬の落葉した樹木は生態系保護の観点や光害を防ぐためライトアップはやめましょう。

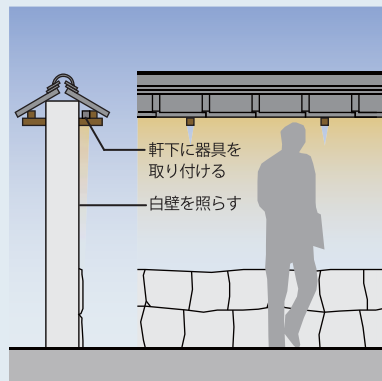


枝ぶりが横に広い樹木は広がり全体的に照らしあげて樹形を浮かび上がらせます。



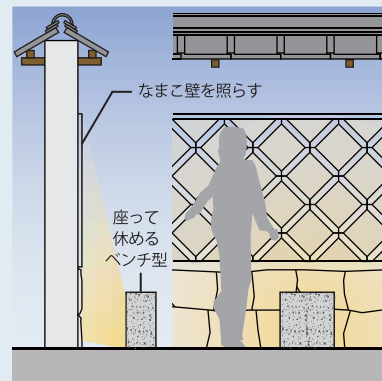
#### 歴史情緒を感じるあかり

##### ■ 白壁の美しさを引き立てる



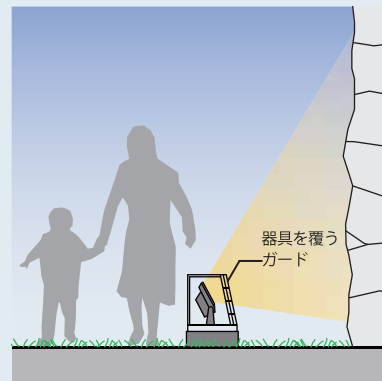
軒下などに照明を組み込むことで器具の存在感を無くすことができます。

##### ■ 建築の表情を見せる



ベンチ型照明で、なまこ壁を照らすと通りに建築の豊かな表情を創出できます。

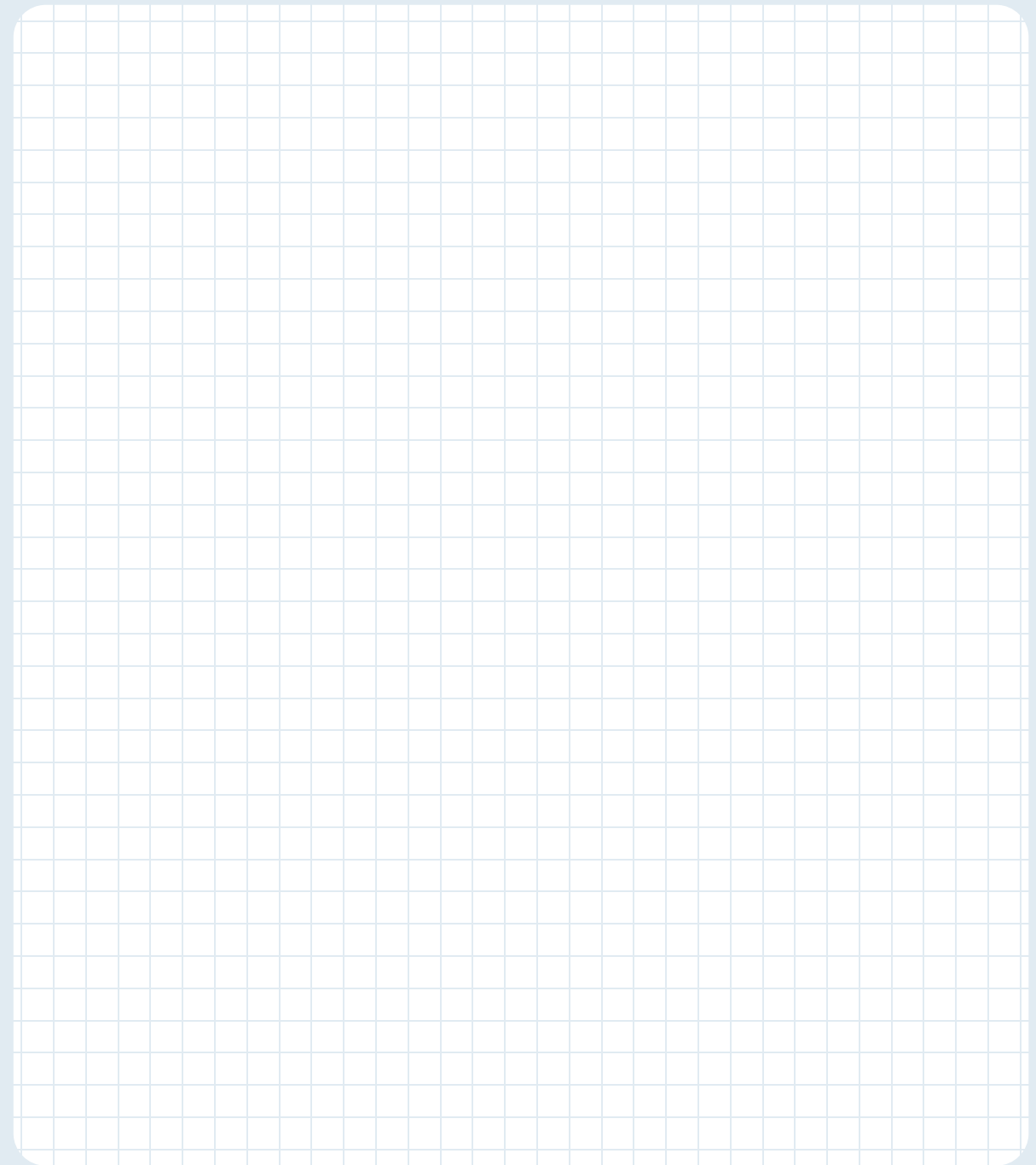
##### ■ 石垣のライトアップ



器具は触れられないようにガードを設置したり植栽を使うことで目立たなくなります。

### 3-9 小倉都心地区周辺エリア

にぎわいのある小倉都心地区と周辺の街を繋ぐエリアです。既に魅力的に彩られたオフィスビルが在るほか、ライトアップすることで魅力を増すポテンシャルを持つ施設も数多くあります。個々の建物の個性や魅力をあかりで彩り、あかりの折り重なりと広がりによる夜間景観づくりが望まれます。





## 第4章 ケーススタディ

本章では、3章までの夜間景観整備の考え方を踏まえ、魅力的な夜間景観を具体的にイメージします。夜間照明を整備した時にどのように見えるのかを、実際に小倉都心地区の景色を切り取って、描いています。もちろん、ここで描いているのはライトアップの仕方の一例です。いろいろな場所、建物、自然などをライトアップすることで夜間の景観がどのように変化するのかを、昼間と夜の現状写真とともに見比べてみてください。身近な建物をライトアップする場合どのような工夫をすれば良いか、「魅力ある夜間景観形成の視点」や「照明デザインのポイント」について、考えてみましょう。



4-1 小倉駅  
光の迫力が出迎える駅



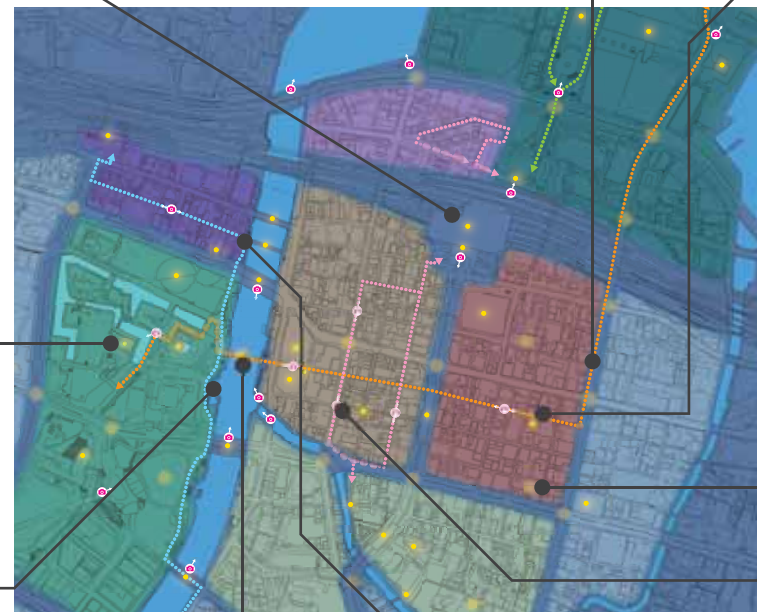
4-2 浅香通り  
まちの骨格を豊かに彩る オフィス街の光だまり



4-3 鶴外通り  
人の流れをつくるあかり 歴史と語らいの繁華街



4-9 小倉城  
この光は目を閉じても消えない 水鏡の城



4-4 境町公園  
地域と共に 都心のコミュニティパーク



4-8 紫川  
水と光の競演 水上のワイドステージ



4-7 鶴外橋  
水面への憧れ 紫川の光の架け橋



4-6 室町  
旧長崎街道をあかりで彩る 歴史を感じさせる趣きのあかり



4-5 みかげ通り  
都心と人をつなぐ洗練されたストリート “KOKURA Lively Street”



## 4-1 小倉駅

### 魅力ある夜間景観形成の視点

- ・ランドマークとなる象徴的な光
- ・待ち合わせ場所になる陰影のある佇みの空間創出
- ・駅周辺民間施設の魅力あふれる夜間景観づくりへの積極的な参加
- ・新幹線口の建物の壁や柱、街路樹などの明るさ確保
- ・ペDESTリアンデッキ下となる地上1階フロアの明るさ確保

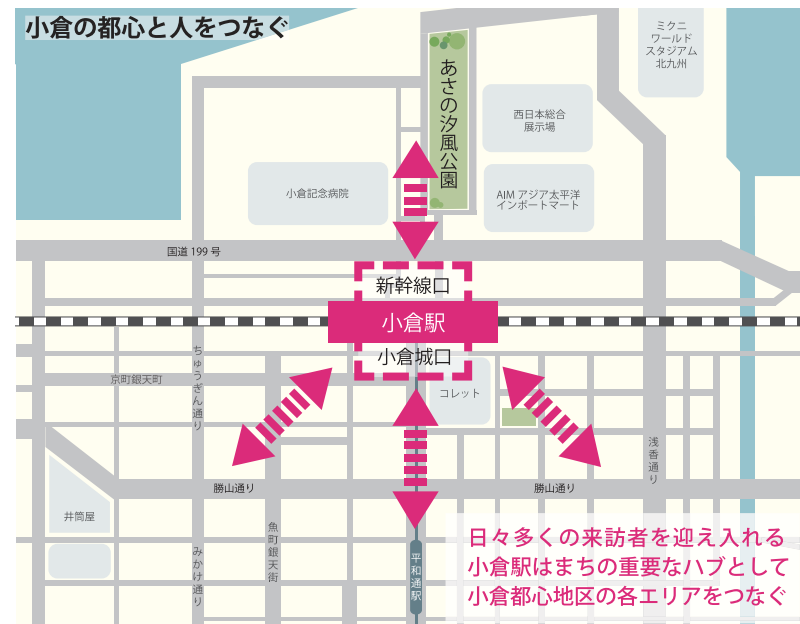


### 光の迫力が出迎える駅

観光客や、ビジネスマン、学生、買い物客など、多くの人々が利用する小倉駅。街の第一印象となる駅前には、ダイナミックな景観を活かした光の迫力とアイストップとなるランドマークの抽出、来訪者のためのわかりやすい動線づくり、緑の表情や陰影のある佇みのスポットづくりなど、周辺施設を含めた官民一体による駅前の夜間景観づくりを演出しています。

#### <照明デザインポイント>

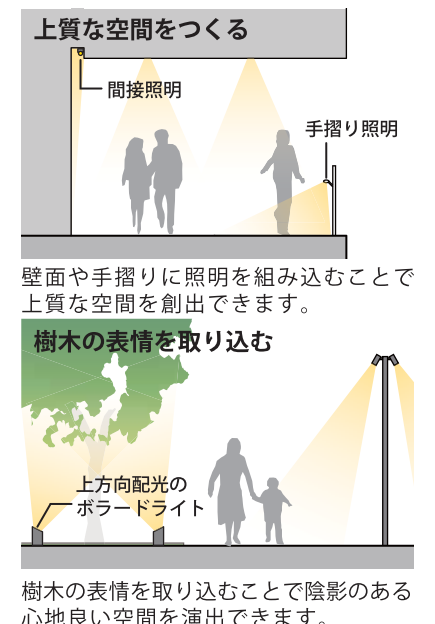
- ・連続するデッキや手摺りを活かした光による明確な動線
- ・植樹帯の緑の表情を取りこみ居心地のよい憩いの空間を創出
- ・投光、発光、透過光を組み合わせて魅力ある夜の表情を演出
- ・民間施設のライトアップによりダイナミックな光景を創出
- ・新幹線口の2本の照明塔を活かした新たなランドマークを創出
- ・ロータリーの樹木を照らすことで親しみを感じる駅の表情を演出



新幹線口の照明塔を象徴的にライトアップし新たなランドマークを創出したり、ロータリーの樹木を照らし緑の表情を取り込むことで、陰影のある心地良い空間を演出できます。



デッキを活かした動線を明確にする光や、アイストップとなる壁や柱を照らす光により、温かく迎え入れるおもてなしの空間を創出できます。



樹木の表情を取り込むことで陰影のある心地良い空間を演出できます。